

【緩和医療専門医養成コース：3年間】

■ 対象

小児科後期研修を終了し小児緩和医療を専門に実践したい医師を対象としている。(小児がん、新生児、小児神経などの専門領域での診療経験がある方が望ましい)

■ 一般目標

小児緩和医療の専門医として、地域社会に貢献できる専門家を養成することが目標である。

■ 当院の特徴

日本で唯一、小児専門施設で日本緩和医療学会専門医認定施設となっている。当院の3年間のプログラムを終了したら日本緩和医療学会緩和医療専門医の受験資格を得ることができる。3年間のうち、成人の緩和医療の研修(緩和ケア病棟、緩和ケアチーム)を最低半年実践。

■ 各論

1. 緩和ケアチーム研修

当院では年間100件以上のコンサルテーションがあり、その対応に当たっている。がんの患者が約半数で、NICU、PICU、神経疾患、循環器疾患などの依頼。

基本的な症状緩和に関わる評価と介入についてコンサルタントとして推奨できるような力を習得することを目指す。また、終末期の意思決定支援、家族支援に関する知識、実践ができる力の習得を目指す。

2. 緩和ケア病床研修

当院にあるもみじの家では、専門的な緩和ケアを受けながら最期の時間を過ごすための病床運用を行っている。原疾患の積極的な治療は行わないかわりに、苦痛症状の緩和を積極的に行いながら、最後までその子らしく過ごせるように支援を実践できる能力の習得を目指す。

■ プロセスモデル

- ・自ら緩和医療を担当した20例の症例報告を提出すること
- ・臨床研究業務に参加すること
- ・日本緩和医療学会認定の講習会への参加1回以上
- ・小児緩和ケアの研修会に参加し指導的に関わる
- ・緩和医療学関連論文2篇(共著可)以上
- ・日本緩和医療学会発表1回以上

※上記以外でも1年単位の短期研修の受け入れも可能。